

令和3年度事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
6月5日	令和2年度補正予算が承認されました。 令和2年度事業報告及び決算が承認されました。 令和3年度の社会福祉充実計画の策定要件には該当しない旨報告しました。 給与規程改定、再雇用職員就業規則策定、理事・監事選任候補者の案、評議員選任候補者の推薦、選任・解任委員会候補者の推薦、てふてふ第二に係る駐車場借用について各々承認されました。 評議員会開催日が承認されました。 4月度5月度の理事長報告がありました。
6月19日	理事長選定案、業務執行理事選定案が承認されました。
10月23日	就業規則改定の件が承認されました。 6月～9月度の理事長報告がありました。
翌3月5日	令和3年度補正予算案の件が承認されました。 令和4年度事業計画案、令和4年度予算案の件が承認されました。 給与規程改定及び人事評価制度規程策定の件が承認されました。 ハラスメント防止規程策定、就業規則改定、パート職員就業規則改定、育児休業等に関する規程改定、経理規程改定、慶弔規程策定は次回に持ち越されました。 役員報酬の改訂、評議員会開催の件が承認されました。
翌3月26日	ハラスメント防止規程策定、就業規則改定、パート職員就業規則改定、育児休業等に関する規程改定、経理規程改定、慶弔規程策定の件が承認されました。

2 評議員会

開催日	議題
6月19日	令和2年度事業報告が承認されました。 令和2年度決算報告が承認されました。 社会福祉充実計画の策定要件には該当しない旨報告しました。 理事・監事選任の件が承認されました。
翌3月26日	令和3年度補正予算が承認されました。 令和4年度事業計画が承認されました。 令和4年度予算案が承認されました。 役員報酬規程改定案の審議が行われ、承認されました。

○監事監査…5月24日令和2年度事業報告及び決算の監査が行われ、適正との報告が行われました。

3 職員研修

日付	参加研修名
8月17日	人材育成研修
10月15日	会計基礎研修Ⅱ
12月17日	人材定着研修

【生活介護事業運営】

1 令和3年度を振り返って

(1)事業全般

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら支援を行なってきました。

新型コロナウイルス感染症に対しては、利用者の方々のワクチン接種を行うにあたって、ご家族より各地域の集団接種会場での接種が難しいとの声を受け、桃山診療所に相談し、健康診断のように桃山診療所で接種できる運びとなりました。また、3回目のブースター接種についても、桃山診療所が、協力医療機関として積極的に協力してくれました。

施設では、9月に陽性者が1名出ましたが、幸い他の職員・利用者に広がらずに終える事ができました。しかしながら、保健センターの指示により、事業所の休所をせざるを得ない状況であり、利用者及びご家族に多大なご迷惑をおかけしました。特に濃厚接触者になった方のご家族には、仕事先や学校等からも自宅待機の指示があり、行動制限等の状況を発生させてしまう事となり、大変ご迷惑をおかけしました。この事を受け、事業所としても新型コロナウイルス感染症拡散防止について、パーティションの設置や、食事支援の対応変更等の見直しを再度行なうことで、濃厚接触状況を少しでも減らせるようにしました。

感染対応が、“株”によって大きく変化しており、1月末に1名、2月初めに1名の陽性者が出ました。しかしながら、前回の対応変更の甲斐もあって、休所期間は短くて済みました。施設として、施設内に感染の可能性のある場合には、業者による消毒を行ない、感染拡大防止に努めてきました。

(2)利用者工賃

昨年度までは、利用者の方々にお渡しする工賃の額を何とか崩さないようにしてきましたが、外部の行事が縮小され、工賃の原資が底を尽きてきた事に伴い、利用者の方々に1人ずつ説明し、工賃規程の改定及び評価の見直しを行ないました。評価項目も、利用者一人ひとりに解りやすく説明し、少しでも評価点が上がるよう意識してもらいました。

工賃の原資を確保する為に、施設前にてフリーマーケットを開催し、また、スポットの委託販売も行ないました。7月からは、理事長に指揮を執って頂き、てふてふ第二の販売を再開する事で、昨年度までよりは少し低い状況ではありますが、コンスタントな工賃の支払いができるようになりました。てふてふ第二の販売については、ボランティアの方のお力もあり、お客様も徐々に増え、今ではリピーターもかなり増えております。しかしながら、コロナ禍での販売においては、緊急事態宣言等の際に開催を中止せざるおえない事もありました。

(3)その他

利用者状況としましては、年度中の実習生の受け入れを行ないましたが、高等部2年生ばかりでしたので、卒業生の受け入れは有りませんでした。在籍中の利用者については、年度末をもって1名の方が、就労を目指す為に退所されました。

施設のハード面としましては、2階作業室の天井エアコンが老朽化してきており、夏場に上手く冷気が出ない事が度々ありました。業者に調査をしてもらったところ、暖房は不具合無いが、冷房の基盤に不良があり、交換部品も廃版になっており、修理は不可能との診断でした。

強度行動障害のある利用者に対応していく為に、先ず、職員1名を選出して、強度行動障害支援者研修を受講してもらい、専門性を高めて支援の組み立てを開始したところです。

2 開所状況 開所日数 256日 利用者延べ人数 7397人 平均利用者数 28.7人 稼働率 72.2%

3 利用者数の変遷 (令和3年度末時点) 33 人

年度末	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	R. 2	R. 3
男	14	11	13	14	14	14
女	19	19	17	18	19	19
合計	33	30	30	32	33	33

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0	6	2	2	3	1	0	14
女	1	6	1	7	2	1	1	19
合計	1	12	3	9	5	2	1	33

支援区分	3	4	5	6	合計
男	1	5	6	2	14
女	7	7	5	0	19
合計	8	12	11	2	33

平均支援区分 4.2

4 職員体制 (令和3年度末時点)

管理者	常勤・兼務	1名				
サービス管理責任者	常勤・兼務	2名				
生活支援員	常勤・専従	4名	常勤・兼務	1名	パート・専従	4名
看護師					パート・専従	1名
事務員	常勤・兼務	1名				
医師			嘱託医	1名		

年度内において正規職員1名の出入、パート職員1名の出入がありました。

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け) 単位：円

内容	令和2年度	令和3年度
自主製品売上(クッキー、刺しゅう雑巾他)	900,401円	750,745円
下請け(輸入雑貨検品、バネ検品他)	375,097円	403,116円
リサイクル品販売	56,650円	459,621円
合計	1,332,148円	1,613,482円

- ※<販売先>
- ・天白区役所(毎週水曜日 10~12時)
 - ・てふてふ第二(毎週火・木・土曜日 10~12時)
 - ・てふてふフリーマーケット(毎月第3水曜日)

	令和2年度	令和3年度
工賃(32名分)	1,469,710円	1,104,270円
一人月平均	3,827円	2,788円

6 職員研修

日付	参加研修名
6月29日	新規採用者フォローアップ研修
6月30日	権利擁護研修
7月9日	感染症対策研修
8月23日	権利擁護研修
8月30日	発達障害研修
9月6日	虐待防止研修
11月1～2日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)
12月10日	初任者研修
12月17日	高齢知的障害者研修
1月16～17日	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)
1月21日	サービス管理責任者(更新研修)
2月28日	県協会愛知県大会

※新型コロナウイルスの為、中止になった研修(集合研修)：普通救命研修

7 主な行事

月	内 容
5	防災訓練
6	健康診断
8	夏期休業
9	防災訓練 バス旅行(恵那峡)…マイクロバス1台・ハイエース2台・を使い、恵那峡にて遊覧船に 乗り、恵那峡ワンダーランドで楽しんだ。
11	インフルエンザ予防接種
12	年末年始休業
1	島田神社へ初詣 新年会・新成人を祝う会…アマンダンテラスにて開催。
2	防災訓練

【共同生活援助運営】

1 令和3年度を振り返って

年度当初、藤が丘も豊が丘も満床となりましたが、5月末に利用者の万引きが発覚し、その方の対応に苦慮しました。幸いにも周りの施設の協力を得る事ができ、現在、退居の形にはありますが、1年が経過し、受け入れを行っていきたいと考えています。

11月、入居者間でのトラブルが発生し、対応として、藤が丘、豊が丘それぞれ女性の入居者の入れ替えを行いました。

12月、女性入居者の利用している移動支援事業所とトラブルが発覚し、その対応に名古屋市や名東区にも相談をしました。現在も継続課題です。

4年3月末、2名の退居がありました。それぞれステップアップを目指して、新しい環境への移動となりました。

共同生活援助として、お一人お一人のニーズに寄り添った支援を提供しつつも、必要に応じてはご本人の為に退居もありました。来年度に向けて、新しい入居者を迎え入れていきたいと考えております。

2 開所状況

平均稼働率（延べ利用日数/利用可能日数/定員）82%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数の変遷(定員16名)	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	
延べ利用日数	439	427	426	399	390	362	427	407	391	372	340	402	4782
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計人
	5	4	3	3		15

3 職員体制

管理者(サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	3名	非常勤・兼務	1名
世話人			非常勤	9名

4 職員研修

日付	参加研修名
7月 9日	感染症対策研修
7月 29日	対人援助技能研修
9月 13日・14日	サービス管理責任者研修

5 加算体制

夜間体制加算・・・常時電話対応、宿直対応は体験利用者に合わせて月1、2回行った。

医療連携加算・・・訪問看護事業所と連携し、定期的な問診と救急体制を確立しています。

事業所名：リハビリステーションかりや

【短期入所運営】

1 3年度を振り返って

平均3名の利用者が利用しています。コロナの影響で、キャンセルさせていただいた事もありました。ロングショートの利用の為、定期利用の方に待っていただいた事もありました。新規の方は1名ですが、ホームの方へ移行なさいました。稼働率が低いので、新規利用者の開拓を行っていきます。(日中活動でふてふにも稼働状況を伝え、新規利用を促していきます。)

2 開所状況

稼働率(延べ利用日数/月利用可能日数/1床) 38%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	2	2	3	4	4	4	3	2	1	2	1	3	31人
延べ利用日数	8	8	9	14	31	9	10	9	7	14	7	11	137日
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日

【相談支援事業運営】

1 一般相談支援(移行)事業 令和3年度地域移行相談件数 3件

主な障害		居住区		相談後の状況	
知的	0	天白区	2	GH入居	1
精神	3	名東区	1	入院中	2

一般相談支援(定着)事業

		28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
主な障害	知的	2	0	1	0	0	1
	精神	0	0	1	1	0	1
居住区	天白区	2	0	2	1	0	1
	名東区	0	0	0	0	0	1

2 特定相談支援事業(者) 令和3年度新規相談件数19件(合計159件:内56件契約解除累計)

主な障害		居住区		利用されるサービス(重複を含む)	
精神	13	天白区	8	生活介護	4
難病	0	名東区	11	居宅支援	5
知的	5			就労継続支援	6
身体	1			共同生活援助	3
				就労移行支援	3

3 障害児相談支援事業 新規11件(合計22件)

- ・新規依頼を積極的に受けた。
- ・お子さん一人一人の状況に加え、ご両親の対応から派生する課題もみえてきて、家族ぐるみの関わりに目を向けた。

4 職員体制 常勤3名 (内1名は共同生活支援職員を兼務)

5 職員研修

日付	参加研修名
毎月第3金曜日	名東区基幹相談支援センターによる部会に参加
令和3年6月18日	報酬改定説明会
7月30日	権利擁護研修
8月11日、12日	名古屋市強度行動障害者養成研修(知識)
8月20日	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業において行われる精神障害者の地域移行関係職員に対する研修 ※加算対象の研修
8月26日、27日	相談支援従事者初任者研修(1)
11月4日、5日	相談支援従事者初任者研修(2)
11月11日	地域共生社会研修
12月7日	医療的ケア児等コーディネーター養成研修
令和4年1月19日	管理者に知って欲しい労働法規
1月21日	医療基礎知識研修

1月28日	サビ管更新研修
2月1日	SDGs についての研修
2月21日、22日	強度行動障害支援者養成研修（実践）
2月28日	相談支援技術研修

6 課題

- ・地域移行支援の相談は、コロナ過の中、病院が面会をシャットアウトして、思うように運ばなかった。じっくりゆっくり功をあせらず、相談支援を行いたい。
- ・計画相談は、名東区に移転して3年目となって、新規は名東区の相談依頼を受けるようにした。一人一人が受け持つ相談を相談員が情報共有して、知恵を出し合って、相談内容がより深まっていくようにしていきたい。
- ・障害児相談は、高等部を卒業し、大人のサービス利用を考えていく中で、ご本人が大きな環境の変化を受け入れる事ができるか、引き続き見守っていきたい。